

## 自動ドア機構／①駆動装置

---

### 1. 評価対象

「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）」（以下「標仕」という。）令和4年版16章9節に規定する自動ドア開閉装置のうち  
の駆動装置とする。

### 2. 品質・性能等

- (1) 品質・性能について、「評価内容（別紙）」の項目を確認している。
- (2) 主要な資材について、材質および資材メーカーから申請者の製造所への納入ルートを確認している。
- (3) 性能について、実施要領に規定する試験機関による試験結果等で確認している。

### 3. 評価名簿詳細事項

材料の種類、性能値区分の詳細は、「評価名簿詳細事項」として掲載している。

## 自動ドア機構／①駆動装置

### 評価内容（別紙）

項 目		品 質 ・ 性 能			備 考	
質量区分	開閉方式と適用戸標準質量	開閉方式	適用戸標準質量 (kg)			
		片引き	120 程度 (120±30)			
			70 程度 ( 90 未満)			
		引分け	120 程度 (120±30) /枚			
70 程度 ( 90 未満) /枚						
性能・機構	安全性全般	JIS A 4722 の「5 要求事項」による。				
	耐 電 圧	JIS A 4722 の「5.2.1 一般」による。ただし、JIS C 9335-1 については、(2014 または 2023) とする。				
	温 度 上 昇	JIS A 4722 の「5.2.1 一般」による。				
	耐 久 性 (サイクル)	50 万以上				
	防 錆 [付帯性能]	異常がないこと。				
	電 源	AC100V±10% 50/60Hz				
	過負荷保護	電動機には、過負荷保護を行うこと。				
	防 水 性 [付帯性能]	開閉装置を屋外に設置するか、または、床に埋設する場合は、防水性のある構造とする。				
凍結防止措置 [付帯性能]	[凍結防止措置の有無を社内規定等で確認する。]					
施工・調整後の性能	開閉力のうちの閉じ力 (N)	開閉方式	適用戸標準質量 (kg)	開閉力のうちの閉じ力 (N)		
		片引き	120 程度 (120±30)			
			70 程度 ( 90 未満)			
		引分け	120 程度 (120±30) /枚			
	70 程度 ( 90 未満) /枚					
	開 閉 速 度	開速度 (mm/s)	500 以下			
		閉速度 (mm/s)	350 以下 センサー起動の検出範囲が確保出来ない場合は 250 以下			
手動操作力 (N)	100 以下					
反転停止距離 (mm)	250 以下					
絶 縁 抵 抗 (MΩ)	AC100V 回路は、10 以上					

## 自動ドア機構／①駆動装置

項 目	品 質 ・ 性 能	備 考
試験方法	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 耐電圧は、JIS A 4722 の 5.2.1 による。</li> <li>2. 温度上昇は、JIS A 4722 の 5.2.1 による。</li> <li>3. 耐久性（サイクル）試験は、JIS A 1551 (2021) 「自動ドア開閉装置の試験方法」の「7.13 開閉繰返し試験」による。</li> <li>4. 防錆試験は、JIS C 60068-2-52 の「9 試験」によることとし、試験方法は「9.4.3 試験方法2」による。</li> <li>5. 電源試験は、周波数 50 および 60Hz において、定格電圧（100V）の 90%および 110%の電圧を加えたときの動作確認を行う。</li> <li>6. 開閉力の中の閉じ力試験は、JIS A 1551 の「7.2.1 引き戸の開閉力試験」による。</li> <li>7. 開閉速度試験は、JIS A 1551 の「7.3.1 引き戸の開閉速度試験」による。</li> <li>8. 手動操作力試験は、JIS A 1551 の「7.4.1 引き戸の手動操作力試験」による。</li> <li>9. 反転停止距離試験は、JIS A 1551 の「7.5.1 引き戸の反転停止距離試験」による。</li> <li>10. 絶縁抵抗試験は、JIS A 1551 の「7.9 絶縁抵抗試験」による。</li> <li>11・試験体の戸寸法は、幅 900mm × 高さ 2100mm 程度とする。</li> </ol>	